



さざんか

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第9号(R5. 6. 2)

保護者の方から心温まるお手紙をいただきました

先日、河東中生の保護者の方から校長あてに一通のお手紙を頂戴しました。そこに書かれていたのは、体育祭の日の心温まる河東中生の行為についてでした。体育祭では、競技に応援に係活動に全力で頑張った子どもたちが、トラックの外でも河東中生らしく素晴らしい一面を表していたことに、本当にうれしく誇らしく思います。ぜひとも、全校生徒や先生方たちだけでなく、保護者や地域の方にもお知らせしたいと思い、全文を掲載させていただきます。

河東中学校 校長先生
前略

日頃より息子がお世話になっております。

先日の体育祭では、子どもたちの楽しそうな姿を見ることができ、とてもうれしかったです。

さて、その体育祭の日に、私の夫が「びっくりすることがあった。すごい！感動した。」と心温まる体験をしたので、どうしても一言お礼を申し上げたく、少し遅くなりましたがお手紙を差し上げます。

体育祭の日、グラウンドの男子トイレに長い行列ができていました。これはかなりの時間を待たなくてはならないと思い、他のトイレを探すことにしたそうです。

主人は学校に来るのは二度目でどこへ行ったらよいかわからず、キョロキョロしながらトイレを探していました。すると一人の男子生徒が「どうかされましたか？」と声をかけてくれたそうです。「トイレが行列で、他のトイレを探しているんだけど、わからなくて...」と言うと、その生徒さんは「こちらです。こちらへどうぞ。」とわざわざトイレまで案内してくれ、トイレのサンダルを手にとって「どうぞ」と足元にそろえてくれたそうです。主人は驚きつつもサンダルをはきながら「ありがとう」と言い、もう一度お礼を言おうと振り返ったら、その生徒さんはもういなかったそうです。

「まるで優しい風が吹いたかのようなようだった。爽やかに温かい気持ちになった」とのことでした。人の優しさに触れるのがむずかしくなってきたように感じる昨今、きれいな言葉遣いと優しくて思いやりのある行動に心を打たれました。

声をかけてくれてありがとう。お陰で素晴らしい一日になりました。

最後に、体育祭も素晴らしく、感動しました。子どもたちの笑顔と歓声、頑張る姿を初めてこの目で見ることができました。先生方に心より感謝いたします。

草々

令和5年5月30日

河東中生母より

小学校の校長先生からも、お礼の言葉を頂いています。先週の土曜日に小学校の運動会がありましたが、本校生徒が運動会の運営を手助けしてくれたそうです。特に、後片付けを手伝ってくれて大変助かりましたとのこと。小学校の運動会でも裏方となって活躍してくれた河東中生のみなさん、ありがとうございました。

令和5年度第1回かとう学園運営協議会を開催しました



高宮教育長より安部会長に委嘱状の交付



ボードと付箋を使ってのグループ討議



石田P会長からグループ討議内容の発表

5月31日(水)、第1回かとう学園運営協議会を開催しました。この協議会は、保護者と地域住民、小中の学校代表の三者が集い、かとう学園の子どもたちをどのように育てていくのかを話し合う機関です。昨年度からはじまったコミュニティ・スクールの頭脳といってもよいものです。その理念は、「たくさんの大人たちが総がかりで子どもたちを育てる」というものです。

本校関係者としては、PTA会長の石田龍平様、校長・教頭・主幹教諭、CS担当の古賀先生が毎回参加します。

第1回の会合では、今年の委員が委嘱され、役員の選出を行いました。本年度の会長に安部常美様(河東コミュニティ区長会代表、元中学校校長)、副会長に大江正徳様(河東コミュニティ副会長、元小・中学校校長)が選出されました。

また、学校側から本年度の「かとう学園経営要綱マスタープラン」が説明され、福岡教育大学の伊藤克治教授からコミュニティ・スクールの在り方についての講義がありました。さらに、「今年のかとう学園のスローガン」についてのグループ協議を行いました。

この協議会では、年間6回にわたりかとう学園の運営やどんな児童・生徒に育てていくのかなど学園の教育について協議または熟議していきます。

2000 km飛んでくるアサギマダラが見たい！

今週、はやくも梅雨入りしました。昨年よりも2週間はよい梅雨入りで、今週は雨ばかりの毎日です。

みなさんは、「アサギマダラ」という蝶(チョウ)を知っていますか？

水色に近いあさぎ色と茶色のまだら模様の美しいチョウです。

今、玄海ロイヤルホテルを中心に舞っているチョウです。

このちょうは「旅するチョウ」と言われます。今の時期、南西諸島や台湾から2000km以上移動してくるそうです。なぜ

宗像に来るのかと言うと、玄海ロイヤルホテルにある花壇を目指して来ます。この花壇は、遠賀中学校の生徒とそのお父さんがアサギマダラの好む花を植栽しているそうです。

それにしても、数センチの体で何千キロと海を渡って飛行するエネルギーはどこにあるのだろうと不思議でなりません。(5月23日の西日本新聞を参考にしました)

